

5年 理科学習指導略案

岸和田市立城東小学校

指導者 芝岡 真穂

令和 8 年 9 月 30 日

第5時限 13:40~14:25

第 5 学年 2 組 教室

1. 単元名 「台風接近」（使用図書は、教科書：未来をひらく小学理科5 教育出版 p.92-101）

2. 単元のねらい

本単元では、数日間の台風の動きや台風が近づいてきたときの天気に着目し、それらを継続的に調べる活動を通して、台風の進路や天気の変化の仕方についての理解や、資料調べに関する技能を身につける。予想や仮説を基に解決の方法を発想し、気象衛星などから得た情報を関係付けて、台風の進路や台風が近づいたときの天気の変化についての考察を表現する力を育むことをめざす。

本学級の児童は、普段から天気予報を確認している児童が多い。ニュースや雨雲レーダーで確認することで、その日の天気を予測している児童も多くいる。しかし、「天気の変化」の単元を学習した際、雲画像や雨雲レーダーなどの資料を分析して活用することは苦手である児童が多いと分かった。特に、資料から必要な情報を見つけ出すことや、連続したデータから変化を読み取るのに時間がかかるといった様子が見られた。

そこで本単元では、まず台風についての基本的な知識を学習した後、改めて全体で気象庁のサイトの見方を復習する時間をとる。情報収集の仕方を確認してから個人で台風の進路に関する情報を見つけ出す時間を確保することで児童の苦手を支援したい。またその際、連続したデータを読み取ることを条件とすることで、前回課題であった変化を読み取る力についても身につけさせたい。そのうえで本時では、「学校行事が実施できるかどうか」という身近な題材を設定し、台風の進路や雨風の状況を予測させることで、自分の日常生活に活かす態度を育みたい。

3. 単元の指導計画（全6時間）

時	学習活動
1	台風の動きや台風が近づいた地域の天気はどうなるのか、予想する。 予想を確かめる方法を考え、計画を立てる。
2・3	気象情報を集めて、台風の進路や台風が近づいた地域の天気を調べる。 クラス全体で集めた資料をもとに、台風の動きや天気への影響についてまとめる。

4・ 5 (本時)	気象データをもとに、運動会の開催について判断する。
6	台風による天気の変化がもたらす災害について理解を深める。

4. 本時について

(1) 目標

雲画像やアメダス、天気予報など複数のデータを整理・分析して、2つの地域の運動会の開催や対策について、具体的に考察することができる。

(2) 判断基準

S(十分に満足できる)	A(満足できる)	B(努力を要する)
雲画像やアメダス、天気予報などのデータを整理・分析して、2つの地域の運動会の開催や対策をどうすればよいか、具体的に考察している。	雲画像やアメダス、天気予報などのデータを整理・分析して、2つの地域の運動会の開催をどうすればよいか、考察している。	データを使用せず、自分の経験や感覚だけで話している。 判断だけを伝えており、理由や根拠が書かれていない。 →観点を示したヒントカードを示し、データに基づいて考えていけるよう支援する。

(3) 本時の情報活用能力のねらいについて

児童は、地図上の2つの地点、A 小学校(大阪)、B 小学校(東京)のそれぞれの小学校で運動会が実施できるか予測するという学習活動に取り組む。その過程で、提示された雲画像、アメダス、天気予報などの情報から「推論」したり、複数の情報を「多面的にみ」て判断したりして、【整理分析】する力を身に付けることが狙いである。必要に応じて表やフィッシュボーンなどのツールを用いて、根拠を明確にして説明できるよう支援し授業をすすめていく。

(4) 学習の手引き

学習課題: 2つの小学校での運動会の開さいについて、気象情報をもとに判断しよう。

S: 雲画像やアメダス、天気予報などのデータを整理・分析して、2つの地域の運動会の開さいや対さくについて具体的に考察することができる。

A: 雲画像やアメダス、天気予報などのデータを整理・分析して、2つの地域の運動会の開さいについて考察することができる。

課題の設定 予定通り運動会を開さいできるのか、そうでないのか(別日に延期、時間をずらせば開さいできる…など)を考察する。運動会は8時～12時に行う予定とする。

情報収集 運動会前後の天候を予測するために必要な情報を集める。

① 時間ごとの「雲の進み具合」や「天気の変化」はどうなっている?

「() 時間で雲はどれくらい動いていて、天気予報は～～になっている。」

「台風が大きくなずまぐ雲が() 時に最も近くにやってくる。」

② 「雨」の強さはどう変化している?

「() 時ごろ、() mmの強い雨が降っているから、運動場は…。」

③ 台風がどんな「方向(進路)」に進んでいる?

「台風は() から() の方角に進んでいる。だから、() 時には通り過ぎると考えられる。運動会当日には…。」

整理・分析 データから読み取れたことから推論する。

複数のデータを多面的に見て判断する。

表現・発信 運動会の実施についての自分の考察をロイロノートにまとめる。

理由もふくめ、どのような予測を立てたのか、友達と考えを共有、交流する。

(5) 学習過程

時	学習活動	主な発問(○)と予想される児童の反応(●)
5 分	・手引きと課題の確認	○前時から2つの小学校で運動会の開催について、考察をすすめています。今回も引き続き考察し、予測してみましょう。
15 分	・情報を活用して、課題に取り組む。	●～時間で雲がこのくらい移動しているから、A 小学校の予定時刻にはたぶん天気が… ●雨雲レーダーでみると0mmの雨がふっている。かなり強い雨だから、実施するのは…
15 分	・ループリックを確認する。	●□□さんと一緒に考察結果だった。でも、根拠としている情報がちがって、なるほどと思った。 ●△△さんと意見がちがう。わたしは雲画像を中心に見ていたけど、雨雲レーダーを見ると意外と雨がふっていないくてそっちも見ればよかったと思った。
10 分	・ふりかえりを記入する。	○自分なりに台風情報を考察してみてもの感想やこれからの生活に活かそうだと思ったことなどをふりかえり、スプレッドシートに記入しましょう。